

市町村名	恩納村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ア)	
担当部課名	村民課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	観光受入体制の整備			
				沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害防止を図るため、ハブの目撃・捕獲数が多い仲泊～宇加地地域及び名嘉真地域にかけて捕獲機を450基設置・巡回しハブ等の駆除を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,822	6,055	6,376	6,630	6,904
		(b) 予算現額	5,822	6,055	6,376	6,747	6,990
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	117	86
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		5,822	6,055	6,376	6,747	6,990
	B. 執行済額		5371	5204	5,729	6,204	7,116
	うち交付金充当額		4296	4163	4,583	4,963	5,692
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		92.3%	85.9%	89.9%	92.0%	101.8%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は実施できており、活動目標の達成状況を鑑みて適正だったと考える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ハブ生息地へのハブ捕獲機設置数	目 標	(400)	(400)	(400)	(450)	
		実 績	450箇所	450箇所	450箇所	460箇所	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	・ハブ等が多く生息する村内南部の地域(仲泊～宇加地)に380基、名嘉真地域に80基設置し、460基の捕獲機を設置し巡回・捕獲を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	捕獲機設置周辺における咬傷被害件数	目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)
		実 績		0件	0件	1件	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	捕獲器設置周辺地域における咬傷被害件数は1件確認されている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・北部地域(名嘉真地区)における住民からの目撃が増えている。 ・現在の体制での捕獲の設置数は450基程度が限界である。 ・前年度よりハブ等の捕獲数が50%程度減少している。	・今年度は北部地域(名嘉真地区)での捕獲器を設置した結果、40匹の捕獲があった。 引き続き捕獲機の設置割合やエリアの見直しを検討していく必要がある。 ・罠が荒らされている形跡があるので、設置個所の見直しを含めて検討していきたい。
今後の取り組み方針		
・北部地区(名嘉真地区)への捕獲器を増設し、引き続き生息域の調査を行っていく。 ・住民からのタイワンハブ等の目撃が多くなっているため、ホームページ・広報誌等で注意喚起を促していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,457</td><td>7,116</td><td>5,692</td><td>1,424</td><td>341</td></tr> </tbody> </table> 恩納村 7,116千円 報酬 5,024千円 旅費 205千円 共済費 796千円 事務費 1,091千円 嘱託職員 2人 5,024千円 〔 会計年度任用職員 2人 交通費 〕 〔 会計年度任用職員 2人 社会保険料 〕 〔 需用費、使用料及び賃借料 〕 〔 ハブ売上収入(交付対象外経費) 273千円 需用費及び報酬(交付対象外経費) 68千円 〕 〔 ハブ駆除事業に係る報酬 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,457	7,116	5,692	1,424	341
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,457	7,116	5,692	1,424	341										
資金使途の流れ 点検・評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	観光誘客を図るため、イベントの開催及びプロモーション活動並びにスポーツコンベンション事業を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置し持続可能な観光産業の推進を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	33,220	26,227	18,988	19,754	27,541
		(b)予算現額	31,646	17,830	3,972	14,900	25,494
		(c)増減額(b-a)	▲1,574	▲8,397	▲15,016	▲4,854	▲2,047
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	31,646	17,830	3,972	14,900	25,494
	B.執行済額		31,646	17,830	3,972	13,746	26,167
	うち交付金充当額		25,316	14,263	3,177	10,996	20,933
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	92.3%	102.6%
予算の状況の説明		旅の案内人配置事業において2名のうち1名が年度途中の採用となったことや、プロモーション事業において関係機関との連携等により使用料等の削減を行い交付対象事業費2,047千円を減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光誘客プロモーションの実施	目 標	(1回実施)	(1回実施)	(1回実施)	(3回実施)	
		実 績	1回実施	中止	1回実施	3回実施	
	イベントの開催	目 標	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	
		実 績	中止	中止	花火大会の開催	花火大会の開催	
	観光案内人の配置	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	観光誘客人の配置	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	未実施	実施	
達成状況説明	・イベント事業の開催については、予定通り「美ら海花火大会」を開催した。 ・プロモーション事業として、昨年に引き続き東京池袋で開催し、海外(韓国及び台湾)でも実施することができた。 ・観光案内人を恩納村文化情報センターの観光フロアに2人配置した。 ・観光誘客人を本事業の業務担当として恩納村観光協会に1人配置した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況		R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
		イベント入場者数	目 標	()	()	(5,700人以上)	(8,000人以上)	()
			実 績				5,845人	11,953人
		村内主要ホテルへの年間宿泊客数	目 標	()	()	(150万人以上)	(230万人以上)	
			実 績				208万人※	246万人
		観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績			86%	86%	82%
進 捗 状 況 説 明	・「イベント入場者数」については、対象事業の「美ら海花火大会」を例年に引き続き開催することができた。新型コロナの規制緩和に伴う通常開催や連休と重なり、過去最多の入場となった。 ・「村内主要ホテル年間宿泊客数」については、R4下半期に水際対策が大幅に緩和されて航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで、令和5年度は、前年度に対して大幅な回復となった。 ・観光案内所において、観光情報の提供及び案内人の対応について利用者アンケートを実施した。「観光フロアの情報内容」について満足度は82%、「旅の案内人の対応」について満足度は80%、また「観光地・恩納村としての満足度」は94%であった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・美ら海花火大会は入場者数11,953人で3,415発を打ち上げた。アンケートの結果から好評であったことがうかがえる。 ・観光案内所からの観光情報の提供や案内人の対応について、目標以上の満足度が得られたが、2名のうち1名は次年度への継続雇用とならなかった。 ・プロモーション事業のうち、東京池袋については昨年に引き続き開催し、併せて海外(韓国及び台湾)でのプロモーション事業を行うことができた。	・美ら海花火大会のアンケート調査の結果から高い満足度となったが、会場の収容能力を考えると今後の目標等の検討が必要である。 ・2名のうち1名が新たな雇用となったため、観光案内人の知識習得や対応スキル等を習得することになった。継続雇用につながる取り組みを検討する必要がある。 ・プロモーション事業の回数を増やしたが、海外でのプロモーションの方法について、常に検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
・事業全体で、継続・拡大し、新たな取り組みと合わせてイベントや村内宿泊への誘客を図る。 ・美ら海花火大会については、打ち上げ時期や場所など、常に安全対策の検討を行う。 ・プロモーション事業を継続・拡大し更なる誘客を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
恩納村 26,167千円 → 委託料 26,167千円 → 恩納村観光協会 26,167千円 一般管理費等(交付対象外経費) 1,126千円 ・観光誘客人の配置(1人) ・観光案内人の配置(2人) ・美ら海花火大会 ・観光プロモーション事業(3か所) ・観光ナビマップ作成事業														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>27,293</td><td>26,167</td><td>20,933</td><td>5,234</td><td>1,126</td></tr> </table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	27,293	26,167	20,933	5,234	1,126			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
27,293	26,167	20,933	5,234	1,126										
資金使途の流れ・費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、本村の観光を推進することに特化した唯一の事業者となっており、支出先の選定方法は妥当であった。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	赤間総合運動公園機能整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-(ア)		
担当部課名	恩納村教育委員会 社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興		
事業内容	令和4年度に策定した機能強化整備計画を基にプロスポーツ合宿の誘致や、利用者の増加を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(7年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	12,250				
		(b) 予算現額	7,403				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,847				
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	7,403				
	B. 執行済額		7,403				
	うち交付金充当額		5,922				
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画通り、執行出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5月活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	プロ野球等のキャンプ及び自主トレーニング、 大会等の受け入れ件数:3件	目 標	(設計業務完了)	()	()	()	
		実 績	設計業務完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	設計業務2件が完了している。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度		目標値 (年度)	
	機能強化整備計画の策定	目 標	()	(設計業務完了)	()	()	
		実 績		設計業務完了			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	令和6年度からの工事開始に向けて実施設計完了					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後本格的な整備を行っていくうえで、予算の確保や公園の他の施設運営とのバランスをみながら、整備を行っていく必要がある。	スムーズな機能強化整備の為に、関係機関及び関係課と連携して工事発注やスポーツコンベンションの誘致等行っていく。
今後の取り組み方針		
機能強化整備計画を基に、計画的な改修及び追加整備工事を行いスポーツ合宿環境及び、利用者の利便性向上に向け整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,403</td><td>7,403</td><td>5,922</td><td>1,481</td><td></td></tr> </table> 恩納村 7,403千円 → 委託料 7,403千円 → (株)二基設計 6,820千円 (有)パブリックコンサルタンツ 583千円 赤間総合運動公園 通信等整備工事設計委託業務 赤間総合運動公園 転落防止柵設置工事設計委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,403	7,403	5,922	1,481	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,403	7,403	5,922	1,481											
資金の流 れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入力で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正の規模だった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	観光地景観形成促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)		
担当部課名	農林水産課	事業実施 （予定）年度	令和５年度 ～ 令和１３年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成			
事業内容	観光地恩納村の景観形成を図るため、村内の景勝地等や沿道及び海岸線沿い観光地エリアの繁茂した樹木や枯木の伐倒・剪定等を実施し、安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観の保護を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	31,112					
		(b) 予算現額	25,278					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,834					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	25,278					
	B. 執行済額		25,278					
	うち交付金充当額		20,222					
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		入札残により事業費予算を5,834千円を減額した。 早期の事業精査により100%執行となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	伐採・剪定作業の実施	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成 状況 説明	枯木の伐倒や剪定を行い、安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観を形成することができた。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 （ 年度）	
	観光客、住民からの観光地エリア（公有地）の 繁茂した樹木や枯れ木等に対する苦情を〇件	目 標	（ ）	（ 〇件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		〇件				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗 状況 説明	事業実施後、観光客、住民からの観光地エリア（公有地）の繁茂した樹木や枯れ木等に対する苦情はない。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・防風林の機能を持つ場合地域住民との調整が必要となる。 ・台風等により危険木が発生することがある。	・恩納村へのアクセス道は国道・県道となっているが安全性・魅力的な景観が保たれていないのが現状である。他の管理者(国道事務所・県土木事務所)のため事業を実施することができない。安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観を保つために事業実施の可能性を検討していく必要がある。
今後の取り組み方針		
安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観を保つために国道・県道での事業実施の可能性を検討し、パトロールを行い、作業地域を選定し魅力的な景観の保護を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,278</td><td>25,278</td><td>20,222</td><td>5,056</td><td></td></tr> </tbody> </table> 恩納村 25,278千円 委託料 25,278千円 有限会社 幸地産業 12,628千円 令和5年度観光地景観形成促進事業(その1) 株式会社 真栄田造園 12,650千円 令和5年度観光地景観形成促進事業(その2)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	25,278	25,278	20,222	5,056	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
25,278	25,278	20,222	5,056											
資金使途の流れ、点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目、使途については事業の目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	44,910	38,595	40,361	39,432	37,773
		(b)予算現額	44,970	38,595	40,361	39,519	38,804
		(c)増減額(b-a)	60	0	0	87	1,031
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	44,970	38,595	40,361	39,519	38,804
	B.執行済額		37,272	36,740	39,602	39,519	41,033
	うち交付金充当額		23,962	21,920	28,953	28,559	32,826
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		82.9%	95.2%	98.1%	100.0%	105.7%
予算の状況の説明		不用額は生じず、事業計画通りに執行出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	特別支援教育支援員充足率 100%	目 標	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	
		実 績	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 150.0% 小学校 100.0% 中学校 100.0%	
	特別支援教育支援員配置数	目 標	幼稚園4園:4人 小学校5校:9人 中学校1校:3人	幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人	幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人	幼稚園3園:4人 小学校4校:10人 中学校1校:3人	
		実 績	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 6人 小学校 10人 中学校 3人	
達成状況説明	・中学校では目標人数3人配置ができたが、小学校では配置の遅れや中途退職による欠員期間が生じたものの最終的には目標人数配置することができた。幼稚園では、個別の支援を要する幼児のため、仲泊幼稚園・恩納幼稚園で各1名増員したが、恩納幼稚園の支援員が体調を崩し、5月より半日勤務となったため、半日勤務できる支援員を1名増員したため、目標人数4人から実績人数6人となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(H29年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	(93%以上)	()	()	()	()
		実 績					
	特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施:学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実 績		94.70%	88.40%	76.00%	
進捗状況説明	保護者による全体的な支援員評価については、肯定的な意見97%であるが、支援員による支援で学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の質問に対しては、76%で目標値を下回った。 今後の支援員配置についても93%以上が希望している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 保護者から今後の支援員配置については、93%以上で高い希望があるものの、支援員による支援で学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の質問に対しては、76%で目標値を下回る結果となり、支援員の資質向上を図る必要がある。 - 慢性的な人手不足による支援の不足が生じないようにしなければならないが、沖縄県全体が教育不足ということもあり、教員免許保持者が臨任教諭へ採用となるケースが生じている。	- 支援員の資質向上については、引き続き指導主事による研修を計画的に実施していく。 - 引き続き近隣市町村の雇用条件等を参考にし、必要があれば雇用条件を見直すと同時に欠員が生じた際は、早急にハローワークへ募集を行い、人員を確保していく。
今後の取り組み方針		
- 指導主事による研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。 - 支援員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,492	41,033	32,826	8,207	4,459

恩納村
41,033
千円

報酬
30,049
千円

職員手当等
5,263
千円

旅費
1,091
千円

共済費
4,630
千円

報酬
支援員19人
30,049千円

期末手当
支援員19人
5,263千円

通勤手当
支援員19人
1,091千円

社会保険料及び
雇用保険料
支援員19人
4,630千円

幼稚園 6人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 6人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 6人
小学校 10人
中学校 3人

幼稚園 4人
小学校 10人
中学校 3人

授業対象外の日数
(交付対象外経費)
4,459千円

資金使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村会計年度任用職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○不用額は無く、適切な予算規模であった。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	学校ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ Society5.0に対応する教育の推進		
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ~ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	村立小中学校へICT支援員を派遣することで、教師のICT活用指導力の向上および児童生徒の学力の向上や人材育成を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	23,760					
		(b)予算現額	20,785					
		(c)増減額(b-a)	▲2,975					
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	20,785					
	B.執行済額		20,609					
	うち交付金充当額		16,486					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.2%					
予算の状況の説明		事業計画通り、執行出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	ICT支援員充足率 100%	目標	(100%)					
		実績	小学校 150.0% 中学校 100.0%					
	ICT支援員配置数	目標	(小学校4校:2人 中学校1校:1人)					
		実績	小学校 3人 中学校 1人					
達成状況説明	・中学校では目標人数1人配置ができたが、小学校では4月に退職による欠員期間が生じたものの最終的には目標人数2人以上配置することができた。小学校の目標人数2人から実績人数3人となった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	() (80%以上)	()	()	()		
		実績	/	60.0%			/	
		目標	() ()	()	()	()		
		実績	/				/	
	進捗状況説明	ICT支援員の配置については、目標人数を達成することができたが、教員による支援員評価については、60%と目標値を下回る結果となった。ICT支援員の資質について、満足している学校もあれば、そうでない学校もあり、ICT支援員の資質向上に課題が残るものの、ICTを活用した授業を行うにあたって、ICT支援員による支援が必要とする回答は100%である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・教員からICT支援員配置については、高い希望があるものの、支援員の資質向上を図る必要がある。	・支援員の資質向上については、会社組織で研修を計画的に実施していく。
今後の取り組み方針		
・会社組織によるICT支援員への研修実施に加え、学校内でのICT支援員による研修を実施し、校内連携の充実に取り組む。 ・企業からの派遣により安定した支援体制を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,785</td><td>20,609</td><td>16,486</td><td>4,123</td><td>176</td></tr> </tbody> </table> <pre> graph LR A[恩納村 20,609 千円] -- "委託契約 (指名型プロポーザル)" --> B[株式会社 学映システム 沖縄営業所 20,609 千円] B -- "ICT支援員派遣" --> C["小学校 3人 中学校 1人"] D["授業対象外の日数 (交付対象外経費) 176千円"] </pre>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,785	20,609	16,486	4,123	176
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,785	20,609	16,486	4,123	176										
資金使途の流 点検・費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村学校ICT支援員配置業務発注配置要綱」及び「恩納村プロポーザル方式実施要綱」に基づいた選定であり妥当である。 ○予算規模は三者見積りにより妥当であり、不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○仕様書に基づいた積算により支出しているため適正であると判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	日本語通級指導教室補助員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ		
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習 環境の充実			
事業内容	英語の堪能な日本語指導教室補助員を配置し、外国籍児童の学校生活や学習上の困難の改善を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,139					
		(b)予算現額	3,030					
		(c)増減額(b-a)	186					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	3,030					
	B. 執行済額		2,926					
	うち交付金充当額		2,340					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		96.6%					
予算の状況の説明		・対象外経費を含めた総事業費は3,342千円で執行率は88.0%となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	日本語通級指導教室補助員充足率 100%	目 標	(100%)					
		実 績	小学校 100%					
	日本語通級指導教室補助員配置数	目 標	(小学校1校:1人)					
		実 績	小学校 1人					
達成 状況 説明	・4月当初より小学校に1人配置することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R5年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	(80%以上)	(80%以上)	()	()	()	
		実 績		100.0%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗 状況 説明	保護者による補助員評価については、肯定的な意見が100%であり、今後の補助員配置についても100%が希望している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・今後も外国籍児童の増加が見込まれるため、補助員の増員が必要である。	・初めて日本で就学する児童生徒に対し、「日本語初期指導教室」を小学校に設置し、初期の日本語指導や文化について、学び、その後、日本語通級指導教室へ通級するといった取組を行っていく。
今後の取り組み方針		
・先進地研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。 ・補助員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>3,342</td><td>2,926</td><td>2,340</td><td>586</td><td>416</td></tr></table>		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,342	2,926	2,340	586	416	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,342	2,926	2,340	586	416										
恩納村 2,926 千円 報酬 2,092 千円 職員手当等 332 千円 旅費 148 千円 共済費 354 千円 授業対象外の日数 (交付対象外経費) 416千円 報酬 補助員1人 2,092千円 期末手当 補助員1人 332 千円 通勤手当 補助員1人 148千円 社会保険料及び 雇用保険料 補助員1人 354千円 小学校 1人 小学校 1人 小学校 1人 小学校 1人														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○「恩納村日本語通級指導教室補助員配置要綱」「恩納村会計年度任用職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	恩納村景観むらづくり計画改定事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-(イ) 沖縄の歴史と景観に配慮した 千年悠久のまちづくり				
担当部課名	企画課	事業実施 (予定)年度	令和4年度 ～ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)			
事業内容	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るため、前年度作成した景観むらづくり(案)を基に住民説明会、パブリックコメント及び審議会を実施し、恩納村景観むらづくり計画の策定を行う。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和6年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,120	8,030				
		(b)予算現額	2,145	4,235				
		(c)増減額(b-a)	▲7,975	▲3,795				
		(d)繰越額	0	0				
		A.計(b+d)	2,145	4,235				
	B.執行済額		1,815	4,235				
	うち交付金充当額		1,452	3,388				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		84.6%	100.0%				
予算の状況の説明		計画通り事業を実施できた為に、100%の執行ができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	住民説明会、パブリックコメントの実施	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	庁内会議、恩納村景観むらづくり審議会の開催	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	山田地区景観むらづくりワークショップの開催	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	景観形成重点地区(山田地区)検討業務報告書の検討・作成	目 標	(作成完了)	()	()	()		
		実 績	作成完了					
恩納村景観むらづくり計画の作成	目 標	(作成完了)	()	()	()			
	実 績	作成完了						
達成状況説明	山田地区景観むらづくりワークショップを開催し、住民の意見を反映した、景観形成重点地区(山田地区)検討業務報告書を作成した。 上記内容も踏まえた景観むらづくり計画(案)を基に、住民説明会及びパブリックコメントを実施、庁内会議や景観むらづくり審議会を行い、景観むらづくり計画を作成した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	景観むらづくり計画の作成の完了	目 標	()	(完了)				()
		実 績		完了				
	景観形成重点地区(山田地区)検討業務報告書作成	目 標	()	(完了)				()
		実 績		完了				
	進捗状況説明	景観むらづくり計画、景観形成重点地区(山田地区)検討業務報告書の作成を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・景観計画の改定に向けて住民説明会及びパブリックコメントを行い、景観むらづくり計画改定を作成することができたため、成果目標を達成できたと考えられる。	・計画の策定から5年、10年を目途に計画の見直しを検討し、よりよい眺望景観の保全・創出に繋げる。
今後の取り組み方針		
・作成した景観むらづくり計画を基に、豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図る取り組みを推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,235	4,235	3,388	847	0

恩納村
4,235千円

委託料
4,235千円

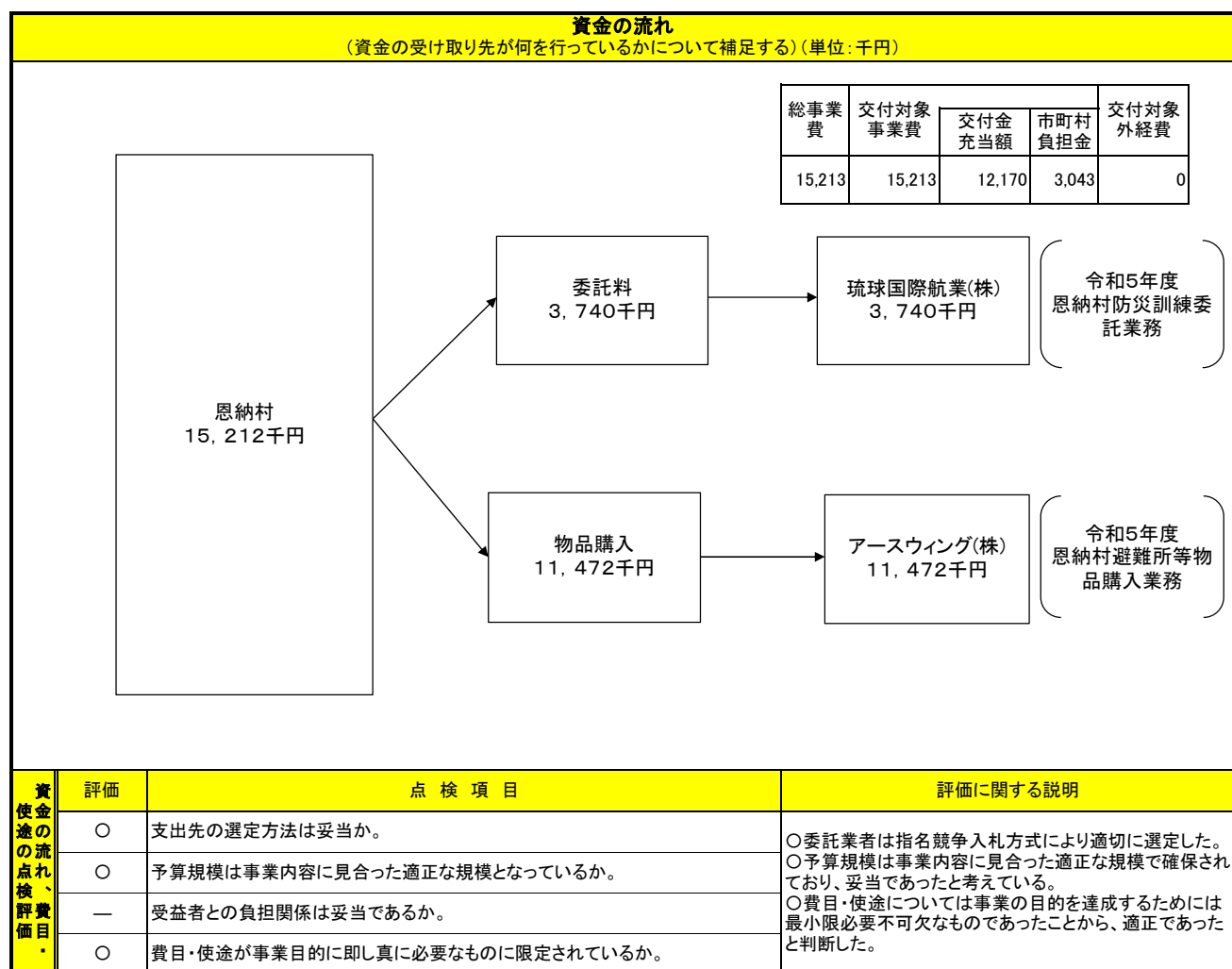
合同会社ユーエスディラボ
4,235千円

〔 景観むらづくり計画改定等業務委 〕

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	恩納村防災事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-(7)		
担当部課名	総務課	事業実施 （予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化			
事業内容	大規模自然災害が発生した際に迅速かつ的確な初動対応ができるよう、地域住民や県警事業所等と連携し防災体制の強化を図る。又、防災倉庫を設置し備蓄品等（アレルギー対応品）を整備する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	15,487					
		(b)予算現額	15,213					
		(c)増減額(b-a)	▲274					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	15,213					
	B.執行済額		15,213					
	うち交付金充当額		12,170					
	次年度繰越額		0					
	執行率（%）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通り事業を実施できた為に、100%の執行ができた。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	防災訓練の実施	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施					
	防災倉庫の整備	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施					
	備蓄食糧及び資機材等整備	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施					
達成 状況 説明	・各種マニュアル等に基づき大規模災害時の初動体制、情報収集及び避難所運営訓練の実施ができた。 また、訓練内でも課題となった避難所の確保（観光客含む）についても、村・警察・観光協会・ホテル（GM会）の4団体で協定を締結したことで、災害体制の強化に繋がった。 ・防災備蓄倉庫1基、300名×3食×3日分（2,700食）及び資機材等の整備を行った。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 （ 年度）	
	防災訓練の実施	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	防災倉庫の設置 備蓄食糧及び資機材等の整備	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		完了				
	進捗 状況 説明	訓練の実施、防災倉庫の設置、備蓄食糧及び資機材等の整備を実施完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大規模災害を想定した訓練を実施することができ、防災意識の高揚、災害体制の強化を図ることができた。また、防災倉庫未整備の地域に防災倉庫を設置することができた。	村全体での避難訓練等を実施することで、各自主防災組織、自治会及び事業所等の防災意識の高揚を図り、地域の実状に応じた防災倉庫や資機材等の整備が可能になるため、地域の住民等の要望を踏まえた整備が必要。
今後の取り組み方針		
今後も、防災倉庫等の未整備地域について早急に設置を行い、備蓄食糧等についても災害に備え計画的に整備する。また、防災訓練を実施することで災害に強いまちづくりの推進する。		



市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-イ 地域・産業間連携による「稼ぐ力」と域内自給率の向上			
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)			
事業内容	観光連携型農業事業の可能性及びスマート農業整備の可能性について調査し、「稼げる農林水産業」を目指した農業活性化を促す事業構築の検討を図る。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度（R9年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,775					
		(b) 予算現額	5,775					
		(c) 増減額（b-a）	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計（b+d）	5,775					
	B. 執行済額		5,568					
	うち交付金充当額		4,454					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）（B/A）		96.4%					
予算の状況の説明		不用額の207千円については、委託の入札残によるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の実施	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査業務を委託し、委託業者と共に調査業務を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）	
	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の完了	目 標	（ ）	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		実施				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査業務を委託し、委託業者と共に調査業務を実施し完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村の農業の現状及び、スマート農業と観光連携型農業を推進するにあたり、品目・地域等を調査することで、本村の農業の可能性を調査することができた。	本事業では、本村全体及び農業品目等の指定をせず、様々な可能性を調査する対象が幅広い事業であったが、今後は品目の選定や地域などを選定した上で調査業務を実施することで、地域、品目に特化した結果を得られると考える。
今後の取り組み方針		
本事業による調査結果を基に、観光連携型農業及びスマート農業に取り組む農業者を育成し、農業所得の向上及び農業活性化を促す事業構築を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
恩納村 5,567千円 委託料 5,567千円 スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査業務共同企業体 5,567千円 〔 調査業務委託 〕		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,567</td><td>5,567</td><td>4,454</td><td>1,113</td><td>0</td></tr> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,567	5,567	4,454	1,113	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,567	5,567	4,454	1,113	0										
資金使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	地域特産品等開発支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-イ		
担当部課名	商工観光課（商工係）	事業実施 （予定）年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域資源を活用した特産品の振興			
					Ⅲ-1-(7)			
事業内容	地域農産物を活用したレシピ・商品の開発、過年度に商品化した商品について更なる高付加価値化、販売促進・販路開拓を図り、地域経済の活性化を目的とする。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 度末）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,503					
		(b) 予算現額	6,503					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	6,503					
	B. 執行済額		6,403					
	うち交付金充当額		5,122					
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		98.5%					
予算の状況の説明		事業計画どおり執行し、総事業費は6,503千円となったが、出店料の一部補助分については交付対象外とした。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	○開発事業者支援 5社	目 標	（ 5社 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	5社					
	○開発された商品の販売促進やレシピ開発に関する企画実施1回、来場者に対するアンケート ○販売促進に関するツール制作および関連施設への配布	目 標	（ 1回 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	1回					
達成状況説明	○開発意向のある事業者は6事業者であったが、書類審査やプレゼン等による選考により最終的な個社支援数は5社と目標通り実施できた。 ○レシピ開発に関しては、台風の影響により原料である果物（アテモヤ）の調達が予定どおり行えず、2月開催にずれ込んだが、メディア露出等もあり本村の拠点産地認定品目である「アテモヤ」の認知度向上を図ることができた。 ○アンケートは観光施設である「万座毛周辺活性化施設」で試作品の試食とともに実施し、消費者ニーズを商品へ取り込むことができた。 ○販売促進用に制作したツール（村オリジナル紙袋）も本村全体で利用される頻度が多くなり宣伝広告媒体として機能している。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値 （ 年度）	R5年度	R7年度	R8年度	目標値 （ 年度）	
	開発された商品	目 標	（ ）	（ 5品 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		5品				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	パッケージ開発等を含めて5品 【記載内容】支援対象者（開発商品や支援内容） ①株式会社ONNA（贅沢なワンスプーン セット箱及び販売促進ツール開発）②株式会社OBN（村の海産物農産物で作る「パスタ&パスタソース」、パンフレット作製）③Curry Savila合同会社（ちんすこう商品化、商品レシピ開発、パッケージデザイン）④ペンションほろほろ（自社オリジナル加工品の広報事業 パンフレットデザイン作成、店頭POPデザイン作成）⑤株式会社農業生産法人沖縄葡萄（リュウキュウガナブを使った商品のシリーズ化 パッケージデザイン開発及びリーフレットデザイン作成、成分分析）						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○事業期間は1年であるが、開発意向のある事業者の募集期間を含めており、実質的な支援期間は約半年程度となる。成分分析が伴う場合は、更に短くなる場合も想定される。精度の高い商品開発となるためには十分な時間とはいえ、エントリーする事業者も2クールにかけて商品開発から販売促進ツールやギフト販売対応の支援を受ける内容となっている。	○支援期間が短いことから支援対象となる事業者全般の底上げを行うことが必要である。
今後の取り組み方針		
○支援対象事業者全体に関するレベルアップの前段としてセミナーや講習会の開催を検討する必要がある。 ○産業まつりと連動して開発された商品や支援事業内容をまつり会場で展示し、支援対象者の掘り起こしを図り、村民への中小企業振興策への理解を促す。また開発された商品をふるさと納税返礼品に登録し、販路開拓支援と売り上げ向上につなげることで地域経済活性化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,503</td><td>6,403</td><td>5,122</td><td>1,281</td><td>100</td></tr> </tbody> </table> 恩納村 6,403千円 委託料 6,403千円 恩納村商工会 6,403千円 恩納村地域特産品等開発支援事業委託 交付対象外経費 100千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,503	6,403	5,122	1,281	100
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,503	6,403	5,122	1,281	100										
資金使途の流れ、点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約であるが、村内事業者の経営状態を把握した上で伴走型で支援できる中小企業の公的な支援団体であり妥当である。 ○不用額はなく適正な規模と判断できる。 ○費目、使途については、完了報告時に検査しており、出店料の一部支援として支出した額は交付対象外経費としており、妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-②	恩納村産業まつり実施事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-イ		
担当部課名	商工観光課（商工係）	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域資源を活用した特産品の振興			
事業内容	産業振興の一環として、本村の魅力を村内外にPRし、地域産業の発展に寄与することを目的に開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 度末）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・ 執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,415					
		(b) 予算現額	8,534					
		(c) 増減額 (b-a)	2,119					
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	8,534					
	B. 執行済額		7,998					
	うち交付金充当額		6,398					
	次年度繰越額							
	執行率（％）(B/A)		93.7%					
予算の状況の説明		R4年度開催（R5.1月下旬）後の改善点を反映させるため、R5年12月補正にて補助金を2,200千円増額した。 事業計画どおり実施し執行残については全額補助金返還している。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	産業まつりの開催	目 標	(開催)	()	()	()		
		実 績	開催					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	事業計画どおり年度内に産業まつりを開催できた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (R 年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	出店者に対するアンケート結果 産業まつりに出店することで農産物または特 産品等のPRに繋がったと感じる割合	目 標	()	(80%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	産業まつり開催後に行った出店者対象のアンケートにおいて、出店することで取り組みや商品のPRに繋がったと感じるかの割合結 果は、PRに繋がった(89%)、どちらかといえばPRに繋がった(11%)であった。目標値であるPRに繋がったと感じる割合80%を達成して いる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまでの会場では、施設の構造上ホールや個別の部屋で展示や体験ブースと分散して設営していたが、会場をドーム内に展示や物販ブース、屋外に飲食出店と集約して設営することで、来場者がすべてのブースを効率よく見て回ることができ、各出店ブースの訪問率も高まったと考えられる。ブース訪問者数が増えたことで、出店者のPRに繋がったと感じる割合の目標達成に至ったと考えており、特に大きな課題は見つかっていない。	PRに繋がったとの回答割合が高くなることは想定できることであるため、成果目標を見直す必要がある。
今後の取り組み方針		
○出店者数は毎年変動があり、農産物等もPRのためまつり価格になっており売り上げ向上を成果目標にすることは困難であるため、売り上げ向上に繋げるための認知度向上の指標として「来場者数」を成果目標とする。また特産品開発支援事業と連動して商品開発を行った事業者の産業まつりへの出店促進を図り、開発された商品や特産品開発支援事業の取り組み産業まつりで紹介することで、商品開発意欲のある中小企業者等の掘り起こしや機運醸成を促す。また開発された商品をふるさと納税返礼品に登録することで事業者にとっては販路開拓となり、売り上げ向上に繋げることができる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,471</td><td>7,998</td><td>6,398</td><td>1,600</td><td>1,473</td></tr> </table> 恩納村 7,998千円 補助金 7,998千円 恩納村産業まつり実行委員会 7,998千円 JA、漁業協同組合負担金、協賛金、出店料等 (1,473千円) 運営費 (農業、漁業団体へ負担金の70%を上限) 559千円 会場設営費用 7,291千円 役務費・使用料 492千円 需用費 117千円 食糧費 (動員職員等弁当) 91千円 委託費 208千円 ステージ費用 570千円 修繕費 143千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,471	7,998	6,398	1,600	1,473
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,471	7,998	6,398	1,600	1,473										
資金の流 れ、費 用・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○恩納村産業まつり実行委員会への補助であり妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○開催にかかる会場設営費等は入札で業者を選定しており、不用額も6.3%と適正な範囲と考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付先である実行委員会は任意の団体であり、出店者に含まれる農業、漁業関係団体からは負担金をもらう他、協賛金、出店料で経費をまかなっている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については、補助金実績報告時に検査しており、まつり開催に必要なものと判断している。											

市町村名		恩納村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活分)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章—5—(2)—ウ			
担当部課名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資 質・能力を伸ばす教育の推進			
事業内容	島嶼県である沖縄は、九州大会や全国大会出場の際に経済的に負担が大きいため、本村の中学校生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行い、生徒の自立や意欲、競争能力の向上を図り、個々の能力を伸ばしていく。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	480					
		(b)予算現額	25					
		(c)増減額(b-a)	▲ 455					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	25					
	B. 執行済額		25					
	うち交付金充当額		20					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初は20名程の派遣を見込んでいたが、12月補正で予算1,308千円減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	スポーツ及び文化活動に係る、県外派遣の補助	目 標	(2 0 人)	()	()	()		
		実 績	1 人			人		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	・団体部活の県外派遣を見込んでいたが、令和5年度は水泳部の一人のみであった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	目 標	()	(80%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	令和5年度はアンケートの結果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	島嶼県の沖縄で優秀な成績を収め九州や全国大会への出場機会が得られても経済的負担が大きい為出場を断念する方々も少なく、生徒の自立や意欲、競争能力の向上が得られる機会を得られることが目標達成の要因と考えられる。	引き続き出場機会が得られた際の自立や意欲、競争能力の向上の目標80%を目指していく。
今後の取り組み方針		
本村の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>72</td><td>25</td><td>20</td><td>5</td><td>47</td></tr> </table> 恩納村 25千円 補助金 25千円 中学校 25千円 個人(1名) 25千円 個人負担分 交付対象外経費 47千円 水泳部 九州大会(長崎県) 1名					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	72	25	20	5	47
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
72	25	20	5	47										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、恩納村各種競技等の県外等への派遣に関する補助金交付要綱に沿って交付しているため適正な支出となっている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要綱によって受益者負担も求めている為に適正である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途等については交付申請の段階で確認し目的に即し交付した。											

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-②	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活外)		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章—5—(2)—ウ			
担当部課名	社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資 質・能力を伸ばす教育の推進			
事業内容	本村の児童生徒がスポーツ及び文化活動に対する意欲を向上させ各種球技、競技の振興を図り、県代表として県外大会へ出場する際の派遣費の助成を行う							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	480					
		(b)予算現額	1,176					
		(c)増減額(b-a)	696					
		(d)繰越額						
		A. 計(b+d)	1,176					
	B. 執行済額		206					
	うち交付金充当額		164					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		17.5%					
予算の状況の説明		当初予定していた人数の派遣がなかった為に、不用額970千円が発生した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	スポーツ及び文化活動に係る、県外派遣の補助	目 標	(20人)	()	()	()		
		実 績	6人					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	小学生3件、中学生3件							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	目 標	()	(80%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	令和5年度はアンケートの結果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	島嶼県の沖縄で優秀な成績を収め九州や全国大会への出場機会が得られても経済的負担が大きい為出場を断念する方々も少なく、生徒の自立や意欲、競争能力の向上が得られる機会を得られることが目標達成の要因と考えられる。	引き続き出場機会が得られた際の自立や意欲、競争能力の向上の目標80%を目指していく。
今後の取り組み方針		
本村の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>666</td><td>206</td><td>164</td><td>42</td><td>460</td></tr> </table> 恩納村 206千円 補助金 206千円 小中学校 中学校 206千円 個人(6名) 206千円 小学生3人 中学生3人 個人負担分 交付対象外経費 460千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	666	206	164	42	460
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
666	206	164	42	460										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○恩納村各種競技等の県外等への派遣に関する補助金交付要綱に沿って交付しているため適正な支出となっている。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△派遣見込団体が大幅減により不用額が970千円となった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要綱によって受益者負担も求めている為に適正である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途等については交付申請の段階で確認し目的に即し											

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-③	恩納村アメリカホームステイプログラム派遣事業派遣費支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア			
担当部課名	社会教育課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進			
事業内容	村内在住の中・高生をアメリカ合衆国へ派遣し、国際共通言語といわれる英語を直接現地で体験してもらうことで、国際性豊かな視野を身につけ、国際交流推進の担い手となる人材の育成を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,982					
		(b)予算現額	2,046					
		(c)増減額(b-a)	▲601					
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	2,046					
	B.執行済額		1,800					
	うち交付金充当額		1,440					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		88.0%					
予算の状況の説明		派遣人数が予定よりも減となったため、事業費601千円を減額して執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	中高生6名をアメリカ合衆国へ派遣する派遣費を支援する。	目標	(6名派遣)	()	()	()		
		実績	4名派遣					
		目標	()	()	()	()		
実績								
達成状況説明	学校の夏休み期間中を利用して、村内在住の高校生4名をアメリカ合衆国に派遣し、語学研修や体験学習、ホームステイを実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)	
	アンケートで帰国後、国際性豊かな視野を身に付けることができたかと回答した割合80%以上	目標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実績		100%				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	帰国後に徴取したアンケートの結果、自分自身の視野が広がったと感じた生徒の割合は100%であり、目標を達成した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	参加した生徒からは「ホストファミリーと会話をしていくうちに自身の英語力の成長を感じた」、「現地でのマナーを教わったりして異文化理解が深まった」、「沖縄のことを多く聞かれたので、沖縄のことについてさらに学びたいと思った」といった声があったことから、社会情勢に留意しながら今後も継続して事業を実施する必要がある。	村立中学校に通う生徒を対象とした「うんな中学校枠」を設定したが申込者がなかったため、周知方法や応募がなかった場合の他枠への振替について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
派遣費用負担や派遣者数について、過去に研修を受けた方を対象にアンケートやヒアリングを実施し、事業効果の検証を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,784</td><td>1,800</td><td>1,440</td><td>360</td><td>984</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,784	1,800	1,440	360	984
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,784	1,800	1,440	360	984										
恩納村 1,800千円 → 補助金 1,800千円 → 派遣者の保護者 1,800千円 (ホームステイ派遣補助金) (他、個人負担分 (交付対象外経費) 984千円)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣生徒は村の選考委員会での審査により選定している。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△うんな中学校枠に応募がなく、当初予定していた派遣人員から2名の減となった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○要保護・準要保護世帯以外の生徒は事業費の約3割を負担しており、妥当であると考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目や使途については、主に航空賃や現地での研修費用で事業目的達成のために必要なものであるため、妥当であると考える。											

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-④	恩納村アジア圏内<文化・交流>体験プログラム派遣費支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4章-5-(3)-ア		
担当部課名	社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和13 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける 教育の推進		
事業内容	アジア圏の台湾に村内小中学校に在籍する小・中学生を派遣し、現地小・中学校の授業や学校行事への参加といった交流の中で外国語や文化に触れさせ、広い視野を持った国際性豊かな人材の育成を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,543					
		(b)予算現額	2,246					
		(c)増減額(b-a)	▲ 297					
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	2,246					
	B. 執行済額		1,626					
	うち交付金充当額		1,300					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		72.4%					
予算の状況の説明		派遣人数が予定よりも減となったため、事業費297千円を減額して執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	小中学生10名及び引率者5名をアジア圏(台湾)へ派遣する派遣費を支援する。	目 標	(15名派遣)	()	()	()		
		実 績	13名派遣					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状 況 説 明	村内小中学校に在籍する小中学生8名及び引率者5名をアジア圏(台湾)に派遣し、現地校との交流事業を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	アンケートで帰国後、国際性豊かな視野を身に付けることができたかと回答した割合80%以上	目 標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	帰国後に徴取したアンケートの結果、自分自身の視野が広がったと感じた生徒の割合は100%であり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	参加した生徒からは「現地の同年代の生徒と交流することができ、相互理解が深まった」、「国や言語が違って仲良くなりたいという気持ちがあれば交流を深められることが分かった」といった声があったことから、社会情勢に留意しながら今後も継続して事業を実施する必要がある。	申込者が定員に達しなかったため、定員設定や周知方法について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
派遣費用負担や派遣者数について、過去に研修を受けた方を対象にアンケートやヒアリングを実施し、事業効果の検証を行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,430	1,626	1,300	326	804

恩納村
1,626千円

→

補助金
1,626千円

→

派遣者の保護者
1,626千円

文化・交流派遣事業補助金

他、生徒個人負担分・村引率者への補助分
(交付対象外経費)
804千円

評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○応募定員に満たなかったが、村で書類選考により公平に選考しており、妥当であるとする。 △当初予定していた派遣人員から2名の減となった。 ○派遣生徒は事業費の約2割弱を負担しており、妥当であるとする。 ○費目や使途については、主に航空賃や現地での滞在費用であり、事業目的達成のために必要なものであるため、妥当であるとする。
△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目、使途の点検評価

市町村名	恩納村							
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-⑤	学力向上支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施 (予定)年度	令和5年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校 教育の充実			
事業内容	恩納村内の小中学校5校に学力向上支援員を配置し、児童生徒の学習内容の定着支援を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	11,344					
		(b)予算現額	8,852					
		(c)増減額(b-a)	▲2,092					
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	8,852					
	B.執行済額		7,701					
	うち交付金充当額		6,161					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		87.0%					
予算の状況の説明		・募集人員の不足により予算2,092千円を減額した。 不用額1,151千円については、年度末迄に採用ができなかった為である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	学力向上支援員充足率 100%	目 標	(100%)					
		実 績	小学校 80.0% 中学校 100.0%					
	学力向上支援員配置数	目 標	(小学校4校:4人 中学校1校:1人)					
		実 績	小学校 3人 中学校 1人					
達成 状況 説明	・中学校では目標人数1人配置ができたが、小学校では配置の遅れや未配置校が生じてしまった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	学力向上支援員の対応で学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	() (80%以上)				()	
		実 績		78%				
	学力向上支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施: 学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目 標	() (80%以上)				()	
		実 績		78.00%				
	進 捗 状況 説明	保護者による全体的な支援員評価については、肯定的な意見98%であるが、支援員による支援で学習上の困難の改善が図られた等の質問に対しては、78%で目標値を下回った。 今後の支援員配置についても92%が希望している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 保護者から今後の支援員配置については、92%以上で高い希望があるものの、支援員による支援で学習上の困難の改善が図られた等の質問に対しては、78%で目標値を下回る結果となり、支援員の資質向上を図る必要がある。 - 慢性的な人手不足による支援の不足が生じないようにしなければならないが、沖縄県全体が教育不足ということもあり、教員免許保持者が臨任教諭へ採用となるケースが生じている。	- 支援員の資質向上については、指導主事による研修を計画的に実施していく。 - 引き続き近隣市町村の雇用条件等を参考にし、必要があれば雇用条件を見直すと同時に欠員が生じた際は、早急にハローワークへ募集を行い、人員を確保していく。
今後の取り組み方針		
- 指導主事による研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。 - 支援員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,385</td><td>7,702</td><td>6,161</td><td>1,541</td><td>684</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,385	7,702	6,161	1,541	684
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,385	7,702	6,161	1,541	684										
<pre> graph LR A[恩納村 7,702 千円] --> B[報酬 5,768 千円] A --> C[職員手当等 740 千円] A --> D[旅費 344 千円] A --> E[共済費 850 千円] B --> B1[報酬 支援員4人 5,768 千円] C --> C1[期末手当 支援員4人 740 千円] D --> D1[通勤手当 支援員4人 344千円] E --> E1[社会保険料及び 雇用保険料 支援員4人 850千円] B1 --> B2[小学校 3人 中学校 1人] C1 --> C2[小学校 3人 中学校 1人] D1 --> D2[小学校 3人 中学校 1人] E1 --> E2[小学校 3人 中学校 1人] F[人件費 交付対象外経費 684千円] </pre>														
資金使途の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村学力向上支援員配置要綱」「恩納村会計年度任用職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 △募集等により未配置が発生し、不用が生じた。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												